




ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法

電話機と一緒に使用できるオーディオ デバイスは、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンです。

ハンドセットが取り上げられたとき、または別のオーディオ デバイスが使用中のときに、電話機はオフフックになります。


ハンドセットが受け台に置かれていて別のオーディオ デバイスも使用されていないとき、電話機はオンフックになります。

ハンドセットの使用



目的	必要な操作
ハンドセットを使用する	ハンドセットを取り上げると、オフフックになります。受け台に戻すと、オンフックになります。 呼び出す回線は自動的に選択されます。毎回プライマリ回線を選択するオプションについては、システム管理者にお問い合わせください。
コール中に、スピーカフォンまたはヘッドセットに切り替える	 または  を押し、ハンドセットを置きます。
コールの音量レベルを調節する	コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに  を押します。 以降のコール用に音量レベルを保存するには、[保存 (Save)] を押します。

ヘッドセットの使用

電話機では、有線ヘッドセット用に 4 線または 6 線のヘッドセット ジャックがサポートされています。Cisco Unified IP Phone 7975G、7965G、7945G も、無線ヘッドセットをサポートしています。ヘッドセットの購入については、「[ヘッドセットについて](#)」(P.7) を参照してください。

ヘッドセットの使用中は、 や  など、電話機のすべてのコントロールにアクセスできます。

ただし、無線ヘッドセットを使用している場合は、無線ヘッドセットのマニュアルを参照してください。


目的	必要な操作
ヘッドセット モードのオン/オフを切り替える	 を押します。
ハンドセットに切り替える	ハンドセットを持ち上げます。
コールの音量レベルを調節する	コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに  を押します。 以降のコール用に音量レベルを保存するには、[保存 (Save)] を押します。

自動応答を使用する場合は、「[ヘッドセットまたはスピーカフォンでの自動応答の使用](#)」(P.63) を参照してください。

無線ヘッドセットの使用


Cisco Unified IP Phone 7975G、7965G、7945G は、無線ヘッドセットをサポートしています。無線ヘッドセットのリモート機能の使用方法については、無線ヘッドセットのマニュアルを参照してください。また、無線ヘッドセットリモート フックスイッチ コントロール機能と組み合わせて無線ヘッドセットを使用することがお使いの電話機で可能かどうかをシステム管理者に確認してください。



ヘッドセットでのワイドバンドの使用

ワイドバンドをサポートするヘッドセットを使用する場合は、電話機でワイドバンドの設定を有効にすると、オーディオの感度が上がる場合があります（この設定はデフォルトでは無効になっています）。この設定にアクセスするには、 > [ユーザ設定 (User Preferences)] > [オーディオ設定 (Audio Preferences)] > [ワイドバンドヘッドセット (Wideband Headset)] を選択します。

ワイドバンドヘッドセットの設定がグレー表示になっている場合、ユーザはこの設定を変更できません。システム管理者に、電話機システムがワイドバンドを使用するように設定されているかどうかを確認します。システムがワイドバンド対応に設定されていない場合は、ワイドバンドヘッドセットを使用してもオーディオの感度が上がったとは感じられないことがあります。ヘッドセットの詳細については、ご使用のヘッドセットのマニュアルを参照するか、システム管理者にお問い合わせください。




スピーカフォンの使用

ハンドセットが受け台に置かれていて、 が点灯していないときに電話番号をダイヤル、またはコールに応答すると、通常はスピーカフォンモードが自動的に有効になります。

目的	必要な操作
スピーカフォンモードのオン/オフを切り替える	 を押します。
ハンドセットに切り替える	ハンドセットを持ち上げます。
コールの音量レベルを調節する	<p>コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに  を押します。</p> <p>以降のコール用に音量レベルを保存するには、[保存 (Save)] を押します。</p>

ヘッドセットまたはスピーカフォンでの自動応答の使用

自動応答が有効である場合、電話機は、2～3回の呼出音の後、自動的に着信コールに応答します。システム管理者は、スピーカフォンまたはヘッドセットのいずれかの使用時に自動応答するように設定します。大量の着信コールを受ける場合、自動応答を使用すると便利です。

目的または状態	必要な操作
ヘッドセットで自動応答を使用する	<p>通話中以外も、ヘッドセットモードを有効（つまり、 が点灯している状態）にしておきます。</p> <p>ヘッドセットモードを有効にしておくには、次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [終了 (EndCall)] を押して切断します。 • [発信 (New Call)] または [ダイヤル (Dial)] を押して、新規コールを発信します。 <p>電話機がヘッドセットモードで自動応答を使用するように設定されていると、 が点灯している場合に限り、コールが自動的に応答されます。その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。</p>
スピーカフォンで自動応答を使用する	<p>ハンドセットを受け台に置き、ヘッドセットモードを無効（ が消灯している状態）にしておきます。</p> <p>その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。</p>

ヒント

自動応答は、サイレント機能がアクティブの場合は無効になります。

